

奥山 製作所 在庫管理支援サービス



在庫管理専用ボックスを
持つ中島社長

(尚)奥山製作所(神奈川県横浜市中島剛社長)は、自社開発の「在庫管理支援サービス」で製造現場の省力化と人材育成を両立させている。サービスを利用しているヒラテック(株)(厚木市)では、

従来年間72時間かかっていた発注業務をゼロに削減。外国人実習生の資格保有率100%達成や年間12万円の人件費削減にもつながり、効率化と技能育成を同時に進められる。

仕入れ業務も効率化。以前は物流ターミナル経由で9〜10時に到着していた商品を、早朝6〜7時に社用車で取りに行く方式に変更し、ユーザーへの納品を約3時間前倒し。開店直後や午前中に

納品を完了させ、現場の在庫変動に迅速に対応できるようにした。

配送でも効率化を追求。急ぎは全体の1割と確認し、外部配送を活用したことで、自社配送は2024年4月の月133件から2025年4月には月40件に減少。配送コスト(人件費・ガソリ

ン代・高速代)を約82%削減し、平日金曜日を事務作業日に充てるなど、現場の余力を新たな取り組みに振り向けられるようになった。

「在庫管理支援サービス」では、即戦力在庫(重要在庫)のリスト化、チェックシート・ラベル作成、定期訪問による在庫チェック・報告でユーザーの負担を軽減。リニューアルで「Aコース」「Bコース」に加え「C

コース」を追加し、ニーズに応じた柔軟な対応が可能となった。

中島社長は「在庫管理は単なる省力化ではなく、人材育成や組織力強化につながる投資」と位置付け、「DXも万能じゃない、カバーしきれない部分があるはず。最後は現場に立つ人間の重要さ・存在意義が評価されるはず」と述べ、現場主導の新常識構築の重要性を強調した。